



第167号

平成28年12月

編集・発行

鳥取東高等学校PTA
鳥取県立鳥取東高等学校

印刷

日ノ丸印刷株式会社

PTAとしてできることは

PTA副会長 清水奈緒美

「第五十八回中国・四国地区高P連大会」が七月、高松市で開かれ参加してきました。

講演は「違うからおもしろい、違うないから素晴らしい」の演題で演出家の宮本亜門氏でした。多感な高校時代、自分が生きている価値がないと十月、食事と風呂以外は四畳半の部屋で引きこもり、十枚のレコードを何度も聞き、芥川龍之介、中原中也の本を貪り読んだそうです。この引きこもりの経験があつての今が有り、人と違う発想豊かな演出がどの舞台でも観ることができると感じました。

午後の研究協議は「被災地交流を通して」の題で琴平高校PTAの報告がありました。「とらすとK」(生徒三十五名のボランティアグループ)が二〇一一年東日本大震災で被災された宮城県の百名の方々と文通などを二年続け、今年宮城県を訪問しPTAも同行し、心の交流をすることが出来た報告でした。

鳥取もこの十月、倉吉を中心に震度六弱の地震に見舞われました。現在、鳥取東高では生徒会を中心に義援金の募金活動がなされていると聞きます。PTAとしても何か出来ないか、思案しているこの頃です。

出会いの大切さ

副校長 古田 嘉博

耐雪梅花麗 雪に耐えて梅花麗(うるわ)し
冬の長く厳しい寒さに耐えたから、春咲く梅の花は麗しい

西郷隆盛(南洲)が甥に与えた詩の一節です。西郷は貧しい下級武士の出身ながら、苦学して頭角を現し薩摩藩の中心人物になり、のちに長州藩と組んで江戸幕府を倒しました。この句は、幾多の苦難を乗り越えて、大きな事業を成し遂げた彼らしい詩句です。今年日米通算二〇〇勝を達成した広島カープの黒田博樹投手は、この詩句を戒め、励ましの言葉としてきました。甲子園に出場することもなく控え投手で過ごした高校時代に、書道の授業で先生から教わったそうです。

努力しても思うような結果が得られず、苦しんでいた時期にこの詩句に出会い、自分のための言葉だと受け止めたのだと思います。くじけそうな心を支え、その後もずっと心に刻まれていた。詩句の重さもあることながら、出会いの大切さを、改めて教えられました。



私は今回の研修旅行で多くのことを学び、これからの生活に生かせるような貴重な経験をしました。そして、三日間を思い切り楽しむことができました。

初日に観た劇団四季のキャッツは想像以上の迫力で驚きました。実際に歌ったりしゃべったりしている役者を間近で見られる機会になりました。私は今までミュージカルを見たことがなかったのですが、もう一度見たいと思えるような素晴らしい作品で感動しました。

神戸大学研修で模擬講義を受けました。経営学部ではキャリアについて学びました。キャリアの転機に当たって悩み誰かに意見を求め、自分のキャリアなので自分で決めるのが筋だという言葉が印象に残りました。大学選択でも他人の意見を聞いてばかりではなく、自分でよく調べようと思えました。また、売店や食堂など整った施設を見て、大学の自由な雰囲気を感じ、より大学進学への期待が高まりました。大学研修は進路選択に生かせる良い経験となりました。

自由行動でNHK大阪放送局へ行きました。アナウンサー体験をしたり、朝ドラの収録現場を見たりできて充実した時間を過ごせました。大阪を時間いっぱい楽しむことができましたが、ホテルへの到着時間がぎりぎりでした。到着時間に合わない事態になり、見通しを立てるなどの大切さを改めて感じました。

研修旅行を通して多くの人と関わりが持てました。研修先の方々はとても親切で安心して研修することができました。そして三日間友達と過ごし、話したり笑ったりしてより仲も深まりました。研修旅行は私にとって最高の思い出となりました。

今回の研修旅行で学んだことを活かして、自分の進路もしっかり考え、将来の夢に向かって努力していきたいです。

私は今回の研修旅行を通して、普段の学校生活では経験することのできないことをして多くのことを学びました。その中でも二つのことについて話したいと思います。

一つ目は、友達と協力することです。

今回の研修では二日目に班別研修がありました。普段電車やバスに乗る機会が少ないので、バスを乗り間違えるというハプニングがありました。そういう状況の中で自分たちで時間を調べたり、周りの人に行き方を聞いたりして協力し、無事に時間通りホテルに着くことができました。もちろん一人ではできなかったことで、周りに友達がいたからこそ成し遂げられたことだと思います。

また移動時間も含め、これまであまり話していなかった人とも話せたことで協力する幅が広がりました。

二つ目は、自分の進路についてです。

一日目と二日目には大阪大学と京都大学へ行きました。ここでは、実際の大学の先生のお話を聞き、学生たちがどんな研究をしていたりどんなことを勉強しているのかを知ることができ、自分が大学へ行った時と重ね合わせて進路について真剣に考えるきっかけとなりました。



山脈十二回生 山崎 勝彦



自分の進路を考えるきっかけとなった研修旅行

二二 田淵 友香

私は今回の研修旅行で多くのことを学び、これからの生活に生かせるような貴重な経験をしました。そして、三日間を思い切り楽しむことができました。

初日に観た劇団四季のキャッツは想像以上の迫力で驚きました。実際に歌ったりしゃべったりしている役者を間近で見られる機会になりました。私は今までミュージカルを見たことがなかったのですが、もう一度見たいと思えるような素晴らしい作品で感動しました。

神戸大学研修で模擬講義を受けました。経営学部ではキャリアについて学びました。キャリアの転機に当たって悩み誰かに意見を求め、自分のキャリアなので自分で決めるのが筋だという言葉が印象に残りました。大学選択でも他人の意見を聞いてばかりではなく、自分でよく調べようと思えました。また、売店や食堂など整った施設を見て、大学の自由な雰囲気を感じ、より大学進学への期待が高まりました。大学研修は進路選択に生かせる良い経験となりました。

自由行動でNHK大阪放送局へ行きました。アナウンサー体験をしたり、朝ドラの収録現場を見たりできて充実した時間を過ごせました。大阪を時間いっぱい楽しむことができましたが、ホテルへの到着時間がぎりぎりでした。到着時間に合わない事態になり、見通しを立てるなどの大切さを改めて感じました。

研修旅行を通して多くの人と関わりが持てました。研修先の方々はとても親切で安心して研修することができました。そして三日間友達と過ごし、話したり笑ったりしてより仲も深まりました。研修旅行は私にとって最高の思い出となりました。

今回の研修旅行で学んだことを活かして、自分の進路もしっかり考え、将来の夢に向かって努力していきたいです。

私は今回の研修旅行で普段の生活では経験することの無いことをたくさん経験し、その経験からこれからの人生に生かしていけるとても大切なものを得ることができました。

まず、一日目に訪問した大阪高等裁判所では、実際の裁判を生まれてはじめて傍聴しました。私が傍聴した裁判は、殺人事件に関する裁判でした。今までニュース番組のCGやドラマでの再現しか見たことの無かった裁判を生で見て、その厳肅な雰囲気、傍聴していた私はとても緊張しました。

研修旅行で裁判を傍聴するにあたって、事前に裁判について学んでいたことで、より理解を深めることができました。とても貴重な経験になりました。また、その日の夜には劇団四季のミュージカル「CATS」を観賞しました。劇場に入った瞬間から、「CATS」の世界観に引き込まれて、私がいた二階席からでもステージ上の迫力が伝わってくるような素晴らしいミュージカルでした。

次に、二日目の班別自主研修で、清水寺に行きました。外国人観光客や修学旅行生などをはじめ、平日にもかかわらず観光客が多く、慣れない人ごみは歩くだけでも大変でした。慣れない場所での電車移動は不安で、ホテルの到着時間までにホテルに戻れるか心配でしたが、研修先の数を少なくしたことで時間に余裕をもって行動することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、三日目のUSJでは、五時間弱という短い時間に初めは物足りないと思っていたのですが、五つのアトラクションに乗り、お土産もたくさん買うことができ最高の思い出を作ることができました。

今回の研修旅行を通じて、自分の進路を考える視野を広げることができ、研修中に出会った人々や出来事からこれからの人生における教訓をたくさん得ることができました。もともと私は教育系の学科や職業にあまり興味を持っていませんでしたが、京都大学での各国の教育制度の違いを学んだことで、教育に関心を持ち、もっと詳しく学びたいと思うことができました。また、研修中に出会った人々の温かさに触れて、自分も将来こんな大人になりたいと思いました。研修旅行という一見、進路について考えるための旅行のようですが、自分の将来の進路の事だけでなく、今までやこれからの人生を見つめなおすきっかけにもなりました。この研修旅行で学んだことを糧として、これからの人生に生かしていきたいと思います。

研修旅行で学んだこと

二四 盛田 実優

私は今回の研修旅行で普段の生活では経験することの無いことをたくさん経験し、その経験からこれからの人生に生かしていけるとても大切なものを得ることができました。

まず、一日目に訪問した大阪高等裁判所では、実際の裁判を生まれてはじめて傍聴しました。私が傍聴した裁判は、殺人事件に関する裁判でした。今までニュース番組のCGやドラマでの再現しか見たことの無かった裁判を生で見て、その厳肅な雰囲気、傍聴していた私はとても緊張しました。

研修旅行で裁判を傍聴するにあたって、事前に裁判について学んでいたことで、より理解を深めることができました。とても貴重な経験になりました。また、その日の夜には劇団四季のミュージカル「CATS」を観賞しました。劇場に入った瞬間から、「CATS」の世界観に引き込まれて、私がいた二階席からでもステージ上の迫力が伝わってくるような素晴らしいミュージカルでした。

次に、二日目の班別自主研修で、清水寺に行きました。外国人観光客や修学旅行生などをはじめ、平日にもかかわらず観光客が多く、慣れない人ごみは歩くだけでも大変でした。慣れない場所での電車移動は不安で、ホテルの到着時間までにホテルに戻れるか心配でしたが、研修先の数を少なくしたことで時間に余裕をもって行動することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

最後に、三日目のUSJでは、五時間弱という短い時間に初めは物足りないと思っていたのですが、五つのアトラクションに乗り、お土産もたくさん買うことができ最高の思い出を作ることができました。

今回の研修旅行を通じて、自分の進路を考える視野を広げることができ、研修中に出会った人々や出来事からこれからの人生における教訓をたくさん得ることができました。もともと私は教育系の学科や職業にあまり興味を持っていませんでしたが、京都大学での各国の教育制度の違いを学んだことで、教育に関心を持ち、もっと詳しく学びたいと思うことができました。また、研修中に出会った人々の温かさに触れて、自分も将来こんな大人になりたいと思いました。研修旅行という一見、進路について考えるための旅行のようですが、自分の将来の進路の事だけでなく、今までやこれからの人生を見つめなおすきっかけにもなりました。この研修旅行で学んだことを糧として、これからの人生に生かしていきたいと思います。



東高祭が残したものの

前期生徒会長

三十四 奥村 麻弥

無事大成功した第67回東高祭。三年生の熱気に続いて、一・二年生も最高の盛り上がりを見せてくれました。様々な場面で生徒の笑顔を見たとき、東高生で良かった、こんな東高が大好きだと改めて感じました。

東高祭の魅力とえば、何といても全校生徒が一つになって盛り上がる点がではないでしょうか？今年もそんな東高祭であってほしいという意味を込めてスローガンを「GEAR」としたわけですが、あんな静かな生徒会長で今年の東高祭は盛り上がるのかという声を耳にしました。正直、私も自分のせいで東高祭が盛り上がり欠けてしまうのではと、不安がありました。しかし、夕べの集い実行委員会を中心に、多くの仲間が私に頑張れと声をかけてくれ、一念発起し、何とか無事に東高祭を終えることができました。

こんな素敵な学校で生徒会長をさせていただき、感謝の気持ちで

待望の東高祭

一四 西垣 陸

「東高祭」といえば、中学生の時から知っているくらい楽しいと有名です。僕が入試に向け勉強している時には、東高祭を楽しんでいる自分の姿ばかりを想像して、絶対にクラスの出し物には出ようと決めていました。

東高に合格し、東高生になりました。僕たち四組はダンスをすることにになり、心に決めていた通り参加を決めました。初めての東高祭、初めてのクラス演技でわからないこともたくさんあり、不安ももちろんありましたが、それ以上に仲間たちと練習する楽しさが大きかったです。本番が近づくとつられて、徐々にみんなの中に不安や

緊張が高まっていきましたが、練習から本番まで見守り支えてくれたクラスのみんなや、ステージに上がった時の緊張を楽しさに変えてくれた声援があった事で、僕たち四組のクラス演技は成功することが出来ました。

I LIKE 東高祭

二一三 川上 凌

今年も鳥取東高校の一大イベント、東高祭がありました。二日目のダンスやクラスのクリエーションも準備の時期から楽しかったのですが、僕は三日目の体育祭が一番楽しかったです。いろんな先輩方や、今まではあまりしゃべったことのなかった人とも話したり、写真を撮ったりして楽しかったです。クラス縦割の競技で、三組は一年、三年の人たちがとても強く、ムカデ競争や綱引きでの結果がよく、二年三組は学年での総合優勝をすることができ、とても思い出に残っています。

でも、僕が特に思い出に残っているのは、クラス対抗リレーです。この競技は選手を選ぶときに、なかなか決まらず、いやいやながらリレー選手として出場しました。けれども結果としてその人たちのおかげで二年三組は見事三位入賞することができました。

来年の東高祭は、来年入ってくる一年生に、僕たちのあふれ出る元気を見せつけるような勢いで、楽しい東高祭を創り上げていきたいです。

第67回 東高祭



今年も東高生たちの汗と熱い思いのぎっしり詰まった学校祭が実施されました。例年より夏休み明けの準備期間が短い中、生徒たちは大変頑張りました。ハチマキやゼッケンをはじめとするクラス発表、各部による演技・発表・クラブ展示などはこの準備があつたのだと思います。

第67回東高祭

生徒会主任 北尾 慎一

初日の最初はPercussion Performance Players。「一瞬たりとも見逃せない技」がドンドン飛び出してくる「驚き」と「笑い」と「アイデア」に充ちた、見どころ・聴きどころ満載の大好評打楽器コンサートでした。出演者とともに大いに盛り上がりました。次の課題研究発表は、理科科のアカデミックな発表、生徒会の東北訪問、日中交流の報告が行われました。理科科の研究結果に感心し、被災地支援のあり方や異文化交流について考えさせられました。午前の部最後は書道パフォーマンスが行われました。堂々たる演技で観衆を魅了し、素晴らしい書と演技に魅了されました。午後は邦楽・吹奏



インターハイ・国際交流がありました。

八月、柔道部二名がインターハイ出場、その後、「鳥取県青少年柔道交流団」がロシア沿海地方訪問、また十月、書道部と邦楽部が「鳥取県河北省友好提携三十周年記念事業」で中国へ行き国際交流をしました。

中国河北省を訪問して

書道部 一 二 石谷 知子

中国での五日間は、私にとって忘れられない貴重な体験となった。私の役割は、鳥取県河北省友好提携三十周年記念事業の場、書道部を披露することだった。私は大きな紙（一八〇×二二〇cm）に「文字」と書いた。大勢の方の前で緊張しながらも、楽しんで書くことが出来た。はばたくように大きく勢よく、そしてそのイメージで気持ちよく書いた。書き終わった後の拍手や歓声を聞いた時、私の表現した日本文化、そして書が伝わったのだと感じ、とても嬉しかった。

中国の学生たちとの交流も有意義だった。東高と姉妹提携している河北師範大学附属中学を訪問し、活動を見学したり、作品を鑑賞したりし

たが、中国の高校生のレベルの高さに驚かされた。また昼食を一緒にとりながら、英語で普段の生活や好きなものなど、情報交換出来たことはとても楽しかった。

相手を知らずの大切さ

邦楽部 一 二 吉田こども 渡辺 楓奈

私たち邦楽部一年生は、鳥取県河北省友好提携三十周年記念交流事業に参加するため、十月二十四日、二十八日の五日間、中国河北省を訪問しました。

の演奏を披露しました。とても緊張しましたが、その中で精いっぱい中国語での自己紹介や演奏をすることができ、大変喜んでいただきました。また、中国の中学生が弾く二胡や琵琶の演奏は本当に素晴らしい音色で、堂々と弾く姿を見て、私たちも見習おうと思いました。

次に、鳥取発祥のグラウンドゴルフを河北師範大学附属中学の高校生たちと楽しむ中で、スポーツは言語が通じなくてもだれもが一緒に楽しめるものだと実感しました。また、高校生との昼食会では、拙い英語力でも日本の文化を話したり、中国の学校生活について聞いたりしました。違う国の人を知る楽しさとともに、互いに意思疎通を図るための言葉の重要性を知りました。

このように、自分たちの目で見えて耳で聞きながら、中国の文化や生活の一端に触れたことは、とてもよい経験になりました。今後、自分の将来や進路に生かしていきたいです。

全国高等学校総合体育大会に出場して

柔道部 三 一 三 中江 衣月

今回、全国高等学校総合体育大会に出場させていただきました。今日までの三年間は、自分にとって濃く充実していた日々でした。

私は中学一年から柔道を始めましたが、高校に入ると白帯で県大会でもなかなか上位にいきませんでしたが、高校に入った頃は練習についていくのに必死でしたが、先輩方から学んだこともたくさんあり、常に優しく厳しく接していただき、同年代である高橋さんとお互いに励ましあっていたからこそ、今まで頑張れたと思います。

柔道面だけでなく、生活の面やこれから社会に出ていく一人としても、高橋先生からたくさん学びました。怪我をした時期もあり、どうなるかと思ったこともありますが、今回の全国高等学校総合体育大会の県予選では、中学生の時から一度も勝った事のない相手でしたが、勝つことができました。全国高等学校総合体育大会に出場することが出来ました。

私は、全国大会に出場するのは初めてで、嬉しさや緊張、不安に思うこともありました。試合は、自分の技が出せずに相手のベースになった試合で、後からああいう風にすればよかったというのがありますが、最後は最後のなのでこの三年間学んできたことを活かすことが出来るようにこの先頑張りたいと思います。

顧問の高橋先生、応援してくださった方々、家族、友人、そして一緒に頑張ってきた仲間本当に感謝しています。ありがとうございました。

鳥取県青少年柔道交流団に参加して

柔道部 三 一 三 高橋 唯

私が今回の柔道交流で印象に残ったことは、言葉や生活の全く異なっていた地での多くの方々と出会い、会話をして仲良くなったことです。初めは、英語も通じなかったり、寮の生活に慣れないこともありましたが、次第に言葉も理解し、心を通じ合わせることができて、柔道でもたくさんの人と一緒に試合や練習ができたことです。自分から進んで会話をしようとするので、お互いに話しやすい関係を築くことができました。反省点は、もっとロシア語を覚えてロシアに行っておけばよかったということです。現地の人々は英語を話すので、いろいろな人がほとんどだったので少しでもロシア語を覚えておくべきだったということがよくわかりました。

今回のロシア遠征で人との出会いや英語で会話することの楽しさ、大切さがよくわかり、これからの人生の中でたくさんの人々との出会いを大切にしたい。私は、今回の遠征で一番楽しかったのは、ロシア人との交流でたくさん会話をしたこと。普段英語で会話をすることはなかったのですが、これからはさらに英語を使って会話が出来るようになります。



受験生の皆様 保護者の皆様 必見!

いよいよ受験まであとわずかになりました。初めて出願する受験生にとってよくあるトラブルを郵便局員の方からお聞きし、まとめました。よく読んでスムーズに出願し、ラストスパートの時期、一日一日大切に乗り切ってください。

一生懸命、努力した成果を無駄にしないためにも、出願時の注意点についてお知らせします!

「〇月〇日消印有効」と「〇月〇日必着」の違い

- ・「〇月〇日消印有効」= 郵便局窓口で受付された日
- ・「〇月〇日必着」= 大学(専門学校)に配達された日 (配達日数を考慮して2~3日前には郵便局へ)

大学等によっては、「〇月〇日必着。ただし〇月△日消印有効」と記載されている場合もあります。よく読んで、いつまでに郵便局に持っていくか確認しましょう。

郵便はいつまで(時間)受け付けるの?

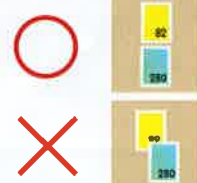
最寄りの郵便局は、9時~17時です。(振込は16時) また、簡易郵便局は、9時~16時です。(一部除く) ただし、受付ができても発送時間がそれぞれ違いますので注意が必要です。

必見! 鳥取中央郵便局のみ 24時間受付可です。

- ・私立大学のWEB願書受付等の場合は… (例) 当日にコンビニで受験料払込み、鳥取中央郵便局で夜に受付できます。(ただし、消印有効の場合)

返信用封筒等に 切手を複数枚貼る場合

絶対に重ね貼りはしないでください!



一般的な礼儀

差出す際は、できれば修正しましょう。



6月以降の各種大会等結果

《柔道》

○平成28年度鳥取県高等学校新人柔道大会(6月10日~12日)

男子団体	予選リーグ敗退
女子団体	予選リーグ敗退
男子60kg級	菅生悠太郎(3-1) 1回戦敗退
男子66kg級	原田 康生(1-2) 1回戦敗退
男子73kg級	奥山 一石(3-3) 1回戦敗退
男子81kg級	渡辺 諒(3-2) 1回戦敗退
男子88kg級	西尾 智樹(3-2) 1回戦敗退
男子96kg級	中江 衣月(3-3) 1回戦敗退
男子100kg級	網谷有里子(1-6) 1回戦敗退
女子48kg級	高橋 唯(3-3) 2回戦敗退
女子55kg級	河野 志織(1-4) 3位
女子63kg級	中江 衣月(3-3) 1回戦敗退
女子71kg級	高橋 唯(3-3) 1回戦敗退
女子79kg級	網谷有里子(1-6) 1回戦敗退
女子87kg級	高橋 唯(3-3) 1回戦敗退
女子95kg級	河野 志織(1-4) 3位
女子100kg級	網谷有里子(1-6) 1回戦敗退

○平成28年度鳥取県高等学校新人柔道大会(10月29日~30日)

男子団体	予選リーグ敗退
女子団体	予選リーグ敗退
男子60kg級	菅生悠太郎(3-1) 1回戦敗退
男子66kg級	原田 康生(1-2) 1回戦敗退
男子73kg級	奥山 一石(3-3) 1回戦敗退
男子81kg級	渡辺 諒(3-2) 1回戦敗退
男子88kg級	西尾 智樹(3-2) 1回戦敗退
男子96kg級	中江 衣月(3-3) 1回戦敗退
男子100kg級	網谷有里子(1-6) 1回戦敗退
女子48kg級	高橋 唯(3-3) 2回戦敗退
女子55kg級	河野 志織(1-4) 3位
女子63kg級	中江 衣月(3-3) 1回戦敗退
女子71kg級	高橋 唯(3-3) 1回戦敗退
女子79kg級	網谷有里子(1-6) 1回戦敗退
女子87kg級	高橋 唯(3-3) 1回戦敗退
女子95kg級	河野 志織(1-4) 3位
女子100kg級	網谷有里子(1-6) 1回戦敗退

○平成28年度鳥取県高等学校新人戦、個人の部(10月15日~16日)

男子シングルス	田中 宏和(1-2) 準優勝
男子ダブルス	田中宏和・松本龍我ペア 準優勝
女子シングルス	阪口 沙弥(2-2) ベスト16
女子ダブルス	清水 佳連(2-1) ベスト16
女子ダブルス	清水佳連・茂木優花ペア ベスト8

《陸上競技》

○平成28年度鳥取県高等学校新人陸上競技大会(9月16日~18日)

男子800m	米岡 駿裕(1-3) 6位
男子1500m	北脇 秀人(1-4) 2位
男子5000m	川上 征尚(2-4) 2位
男子5000m	吉村 隆盛(2-7) 7位
男子3000m障害	宮石 遼祐(2-1) 6位
男子走高跳	米井 潤風(2-7) 7位
トラック得点	8位
女子1500m	原田侑妃乃(2-6) 8位
女子砲丸投	猪口あかり(2-5) 優勝
女子円盤投	猪口あかり(2-5) 優勝
女子ハンマー投	猪口あかり(2-5) 優勝
女子ハンマー投	猪口 悠翔(2-2) 2位
女子やり投	猪口 悠翔(2-2) 4位
女子やり投	栗本 樹里(2-6) 3位
女子総合得点	8位
フィールド得点	4位

○第71回国民体育大会

少年B男子3000m	北脇 秀人(1-4) 2位
鳥取県高校駅伝	中国大会へ
男子チーム	5位
女子チーム	6位

《バスケットボール》

○第83回全日本総合バスケットボール選手権大会鳥取県予選会(10月15日~16日)

女子チーム	3位
男子チーム	3位

○第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会鳥取県予選(11月4日~6日)

男子チーム	3位
女子チーム	3位

○第71回国民体育大会中国ブロック大会

バスケットボール競技の部(8月20日~21日)	4敗
男子(岸本浩輝・馬場大輔・若本卓巳)	1勝3敗
女子(加藤千智・岸田瑞季)	4位

○第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会鳥取県大会

男子チーム	3位
-------	----

・女子500m背泳ぎ	安本	彩花(211)	4位
・女子2000m個人メドレー	瀧山	美紗(213)	5位
・女子1000m自由形	久本	美空(111)	8位
・女子1000m平泳ぎ	吉尾	真歩(112)	4位
・女子2000m平泳ぎ	吉尾	真歩(112)	3位
・女子500m自由形	岸田	美怜(117)	6位
・女子1000m自由形	岸田	美怜(117)	7位
●鳥取県高等学校新人水泳競技大会(9月18日)			
男子 総合成績	中国大会へ		
・男子4000mメドレーリレー	2位		
・男子4000mフリーリレー	2位		
・男子8000mフリーリレー	3位		
・男子2000m個人メドレー	2位		
・男子2000m自由形	山本	学(211)	6位
・男子1000mバタフライ	西尾	太一(212)	4位
・男子1000m平泳ぎ	西尾	太一(212)	8位
・男子2000m平泳ぎ	柳澤	隼也(212)	3位
・男子4000m自由形	柳澤	隼也(212)	2位
・男子2000mバタフライ	岩崎	詢(216)	4位
・男子1000m自由形	岩崎	詢(216)	3位
・男子2000m自由形	田中	隼斗(216)	6位
・男子1000m平泳ぎ	田中	隼斗(216)	2位
・男子2000m平泳ぎ	西川	佳希(216)	4位
・男子1000m背泳ぎ	西川	佳希(216)	4位
・男子2000m背泳ぎ	日笠	鉄平(216)	1位
・男子1000m背泳ぎ	日笠	鉄平(216)	1位
・男子2000m背泳ぎ	垣田将太郎	(217)	4位
・男子1500m自由形	垣田将太郎	(217)	4位
・男子2000m個人メドレー	星合	隼宏(111)	2位
・男子4000m個人メドレー	猪山	裕之(112)	2位
・男子1000m平泳ぎ	猪山	裕之(112)	3位
・男子4000m個人メドレー	水本	健琉(114)	7位
・男子4000m自由形	水本	健琉(114)	5位
・男子1500m自由形	山本	真(113)	2位
・男子2000m個人メドレー	山本	真(113)	1位
・男子4000m個人メドレー	安藤	弘樹(117)	3位
・女子 総合成績	安藤	弘樹(117)	4位
	中国大会へ		

・女子1000m平泳ぎ	安本 彩花(2-1)	3位
・女子2000m平泳ぎ	安本 彩花(2-1)	3位
・女子2000m個人メドレー	瀧山 美紗(2-3)	3位
・女子4000m個人メドレー	瀧山 美紗(2-3)	1位
・女子1000m自由形	久本 美空(1-1)	5位
・女子2000m自由形	久本 美空(1-1)	2位
・女子1000m平泳ぎ	古尾 真歩(1-2)	2位
・女子2000m平泳ぎ	古尾 真歩(1-2)	2位
・女子500m自由形	岸田 美怜(1-7)	3位
・女子1000m自由形	岸田 美怜(1-7)	3位
・女子1000m平泳ぎ	徳田 響(1-7)	5位
・女子2000m平泳ぎ	徳田 響(1-7)	5位
●第4回中国高等学校信心水泳競技選手権大会(10月22日~23日)		
男子 総合成績	7位	
男子8000mフリーリレー	6位	
男子1000m背泳ぎ	日笠 鉄平(2-6)	2位
男子2000m背泳ぎ	日笠 鉄平(2-6)	2位
男子4000m自由形	山本 真(1-3)	6位
男子1500m自由形	山本 真(1-3)	6位
女子2000m平泳ぎ	吉尾 真歩(1-2)	8位
《吹奏楽》		
●第56回全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会(8月8日)		
・団体	銀賞	中国大会へ
《美術》		
●第19回鳥取県高等学校デッサンコンクール(9月17日~18日)		
・佳作	梶谷 理咲(3-4)	
《書道》		
●第18回席上揮毫大会(9月10日)		
・優秀賞	佐古 明音(1-5)	
・佳作	森本 夢羽(2-7)	
●第9回全国公募書道展「放哉を書く」(8月7日審査)		
・高校生の部 放哉大賞・鳥取県知事賞	山内 未来(3-2)	
●第2回イオンモールカップ		
高等学校書道パフォーマンススグランプリ中国四国大会(10月15日)		
・優勝	中四国大会へ	

弓道

- 第58回鳥取県高等学校弓道新人大会(10月22日～23日)
 - ・男子 7位 中国大会へ
 - ・女子 3位 中国大会へ

野球

- 第98回全国高等学校野球選手権鳥取大会(7月16日～27日)
 - ・1回戦 8-1 米子西
 - ・2回戦 2-5 米子北

男子サッカー

- 第95回全国高校サッカー選手権鳥取県大会
 - ・3位
- 鳥取県高校サッカー新人戦
 - ・ベスト8

女子サッカー

- 第38回皇后杯鳥取県予選会(8月27日～9月19日)
 - ・1回戦 4-0 鳥取城北
 - ・2回戦 3-0 米子
 - ・準決勝 0-5 axino境港
- 第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会鳥取県予選(10月23日～30日)
 - ・準決勝 2-0 鳥取城北 優勝
 - ・決勝 2-0 米子
- 第51回鳥取県高校サッカー新人戦(11月11日～13日)
 - ・準決勝 9-0 鳥取西
 - ・決勝 6-0 鳥取城北 優勝
- 第25回全日本高等学校女子サッカー選手権大会中国地域予選(11月19日～21日)
 - ・1回戦 3-3 防府西(PK 3-4) 1回戦敗退

ボート

- 第71回国民体育大会中国ブロック大会
 - ・少年男子シングルスカル 近藤 大樹(3-5) 1位
- 第71回国民体育大会
 - ・少年男子シングルスカル 近藤 大樹(3-5) 1位
- 第28回全国高等学校選抜ボート大会鳥取県予選会
 - ・男子舵手付クオドルプル(小西、中田、谷口昂、福田、日下部) 1位
 - ・女子舵手付クオドルプル(信夫、三谷、日高、竹中、麻木) 3位
 - ・男子ダブルスカル (國本和輝、中溝陽奈太) 3位
 - ・女子ダブルスカル (北埜智美、邨上理子) 4位
 - ・男子シングルスカル 小山 峻(2-6) 1位

男子シングルスカル	徳田 翔(1-5)	4位
女子シングルスカル	大坪 タ貴(2-7)	2位
谷口日向子(2-2)	5位	
●第28回全国高等学校選抜ボート大会中国地区予選会		
男子舵手付クオドルプル	小西、中田、谷口昂、福田、日下部	3位
(小西、中田、谷口昂、福田、日下部)		
男子シングルスカル	小山 峻(2-6)	3位
全日本選手権大会(7月30日～31日)		
男子200mフリーリレー	2位	
男子400mフリーリレー	3位	
男子800mフリーリレー	2位	
男子400mメドレーリレー	3位	
男子100mバタフライ	猪山 雅也(3-2)	5位
男子200m個人メドレー	猪山 雅也(3-2)	5位
男子500mバタフライ	青木 勇斗(3-7)	7位
男子1000m平泳ぎ	柳澤 隼也(2-2)	8位
男子500mバタフライ	田中 隼斗(2-6)	5位
男子1000m自由形	田中 隼斗(2-6)	5位
男子200m自由形	西川 佳希(2-6)	4位
男子500m平泳ぎ	西川 佳希(2-6)	6位
男子1000m背泳ぎ	日笠 鉄平(2-6)	2位
男子500m背泳ぎ	日笠 鉄平(2-6)	1位
男子1000m自由形	垣田将太郎(2-7)	6位
男子200m背泳ぎ	猪山 裕之(1-2)	6位
男子1500m自由形	猪山 裕之(1-2)	3位
男子400m個人メドレー	水本 健琉(1-4)	5位
男子200m平泳ぎ	山本 真(1-3)	4位
男子400m自由形	山本 真(1-3)	3位
男子200m個人メドレー	安藤 弘樹(1-7)	7位
男子400m個人メドレー	安藤 弘樹(1-7)	5位
女子200mフリーリレー	6位	
女子400mフリーリレー	6位	
女子400mメドレーリレー	土肥 瑞穂(3-4)	5位
女子200m個人メドレー	土肥 瑞穂(3-4)	7位
女子400m個人メドレー	土肥 瑞穂(3-4)	7位



時間の管理

一五 前田 彩奈

高校は大きな社会に出るための土台であり、ひとつの社会だと思えるのは時間の管理だ。皆さんは時間を有効に使えていますか。振り返ると、どれほどの時間を無駄にしていたのか今になって後悔している。高校は予習、復習が大事だ。しかし、私は授業の前日に適当な予習をし、課題もざりざりで終わらせ、復習はというとな、実は全くしていなかった。やらなきゃと思っているが、時間を作れずにいた。その結果、学習の内容はテスト前のその場しのぎのものとなった。時間を管理し、有効に使うために計画を立てる事がいいと思う。なので私はホワイトボードにやることを書くのを始めた。そうすることで、今やるべきことが一目で見ることができ、課題をする時間、復習をする時間を作り、管理ができるようになる。「時間のやりくりができるやつは強い」これは顧問の先生の言葉だ。確かに部活でもここが自分の課題だからトレーニングをしようといった小さな目標があるからこそ、先を見据えて行動し、やる気も力も出てくるんだと思う。まだ自分の時間を有効に使えたことは少ないが、この一歩が大切だと思う。高校の三年間を有効に使っていききたい。

「野球」ってすばらしい！

一年保護者 濱田真由美

私は、小さい頃から「野球部のマネージャーになる」将来男の子が産

まれたら、その子が野球部に入ってピッチャーをする「など、たくさん

の夢を描いていた。私が高校生のとき、軟式野球部のマネージャーになり、選手と一緒にボールを追いかけた。

そして月日は流れ、長男が産まれました。でも、小学校入学まで入退院を繰り返して、野球どころか、スポーツができるのか、とても不安でした。

少しずつ元気になり、小学三年生になった時、野球部に入部することができました。背番号一番をもらいピッチャーとして、一生懸命練習をしていました。私の夢が叶いました。

そのままた中学校でも野球を続けたのと思っていたのですが、少数部員で頑張っているバレー部から勧誘されて、迷い考えた末にバレー部を選択しました。長男が中二になった頃でしようか。次男が野球を始めたのを見て、「やっぱり野球部に入りた

い」と長男が言い出したのです。私は一度決めた事は最後までやりぬいて欲しいと説得し続け、中学校卒業までバレー部に所属し頑張りました。

そして、今年、希望校に合格。すぐに野球部に入部するのかと思えば、少し戸惑っているようでした。無理もないかもしれません。三年のプランクがあり、しかも初めての硬式です。親としても不安だらけでした。体験後によりやく決心し、入部。先輩や同期についていくと毎日、必死に頑張っています。

人生において一つのことに夢中になり一生懸命頑張る、そして頑張れる環境にあるということは、とても幸せな事です。大人になってきつと今の体験が宝物になるでしょう。

そんな我が子が所属する東高野球部を支えてくれる！一緒に野球に夢中になってくれる！マネージャーを募集しています。今は、たった一人のマネージャーさんが、東高野球部を支えてくださっています。どなたか、一緒に野球に夢中になりませんか。

「野球」ってすばらしい！私の夢もまだまだ続いています。

高校生活を振り返って

二一 西川奈津実

この作文を書くにあたって、今までの高校生活を振り返ってみると、充実した高校生活だったなあと感じました。また、たくさんの方のおかげで私はその充実した高校生活を送れているのだと再確認することができました。

部活動では最高の仲間に出会えました。楽しいことも辛いことも一緒に共有してきたからこそ、変な気を使わず、お互いに高めあうことが出来ます。部活動が楽しいと思えるのはそんな仲間がいてくれるおかげです。

学校行事の時には、クリエイションの責任者としてうまく指示を伝えることができなかった私をクラスの皆が支え、ついてきてくれました。だから、何度もハプニングがあったけど、何とか成功させることができました。

しかし、勉強だけは自分の力で何とかしなくてはなりません。受験まであと約一年。正直、今の私の学力では目標とする大学に行くことは難しいです。だから、将来自分のなりたいたいものになるために、今やるべきことをしようと思います。

高校生活の残り半分、何事にも全力で取り組み、卒業する時に東高に来てよかった、最高に楽しい三年間だったと思えるようにしたいです。

人に支えられて

二年保護者 西川 直美

「安心したらいいけん。大変なのはこれからだ。」

息子が東高に合格した際、本校出身の某社長さんに頂いた助言です。

職場の先輩ママさんからは、「同じ三年でも中学より高校の方が早い。」

無知な私は、情報を得なければなりません。幸い研修部がありました。二年間研修部に在籍。お陰様で「保護者のための進路セミナー」を

四回拝聴しました。各学年での重要ポイントがしつかりと抑えてあります。プロである先生方にお教えた

だくのが一番です。五年くらい前と入試制度が変わり、受験教科の配点や内容等いろいろと複雑化している

そうです。そこで、毎年なるべく両親のどちらかでもご参加いただくことをお勧めします。再確認にもなりますし、問題点にも早く気付けます。

私のルーティーン

三二 井上 ゆい

私は、バレーボール部に所属していた頃、毎日朝練するのが日課だった。毎朝四時四十分

に学校に到着して、一人で練習の準備を始める。その時間が私は好きだった。いろいろなことを考えながら黙々と準備をしていく時間が、今となつては貴重な時間であつたように思う。そのうち、一人、二人と仲間がやってくる。体育館は賑やかになり、平常の朝練

の時間になっていく。その様子を毎日毎日目にしていた。初めから朝練の様子を見ていると、みんなの体調の良し悪し、気持ちの乗っているかどうか、バレーボールに対する思い等々、いろいろなことが見えてくる。様々な環境があり、個々の想いがあつて、チームが成り立っていることも理解できた。

これが、部活動をやっていた頃の私のルーティーンの一つであり、毎日続けていくことで自信にもつながった。朝早くから体育館の鍵を開

けてくださった先生方を始め、周囲の方々の支えのおかげで三年間続けることができたのだと、感謝している。私は、引退後の今も、朝練していた頃と同じ時間に登校し、自習室で勉強している。朝の静寂の中に一人二人と仲間が増えていくこの時間が、やはり私は好きだ。クラスの朝もそうなりつつある。残り少ない高校生活となつたが、自分を高めたいこのルーティーンを、最後までやり通すつもりである。

子どもを支える親に

三年保護者 井伊 美高

平成二十六年三月、高校の合格発表の日、憧れの東高生になると安堵の表情を浮かべながら友達と喜び合う姿を見たのが、ついこの間の様な気がする。

あれから二年数ヶ月経った今年、その時からに喜ぶ娘の姿を見る出来事があった。

それは、一年生からお世話になっていた吹奏楽部が十年振りの中国大会出場を決めた瞬間だった。普段は泣かない娘が、ポロポロと涙を流しながら友達や先輩と喜びを分かち合う姿を見て、ただただ感動し嬉しく思った。

しかし、親としてそれ以上に嬉しかったのは、中国大会出場が決まった後に娘が「もっと上手になりたい。」「もっと良い演奏がしたい。」と言った。常に自分を高めようと努力した事だった。日々、気持ちに変化していく様子を見る事が出来たのはとても嬉しかった。

こんな貴重な経験が出来たのは、先生方や友人、多くの先輩後輩との出会いがあったお陰だと思ふ。その事を忘れず、これからも自分を高め、信じる道を進んでほしい。

